

# 熊本市上下水道局広報業務契約候補者審査基準

熊本市上下水道局広報業務契約候補者審査の審査基準に関し、以下のとおり定めるものとする。

## 1 審査の方法

- (1) 「熊本市上下水道局広報業務契約候補者選定委員会設置要綱」に基づき「熊本市上下水道局広報業務契約候補者選定委員会」において、審査を行う。
- (2) 審査方法は、審査項目ごとの評価点数の合計点数を競う「プロポーザル方式」により行う。

## 2 審査の手順

- (1) 提案書等受付時に経営企画課（以下「事務局」という。）にて提示金額が提案上限額以内であるかを確認する。提示金額が提案上限額を超えている場合には、その提案書は審査から除外する。
- (2) 選定委員会の委員（以下「委員」という。）は提案書等の記載内容を確認する。
- (3) 委員は、「別表 審査項目」に示した項目ごとに評価する。
- (4) 事務局は、(3)において各委員が評価した点数を提案者ごとに合計し、全委員の合計点数を提案者の得点とする。

## 3 契約候補者の選定

- (1) 審査の結果、合計点数の最も高い提案者を契約候補者、次点の者を契約次点候補者として選定する。
- (2) 複数の提案者が同点の場合には、審査項目のうち、「提案内容」の合計点数が高い者を上位とする。  
「提案内容」の合計点数も同じ場合は委員の協議により選定する。
- (3) いずれの提案も合計点数が 1,440 点未満(満点 2,400 の 60%未満)の場合には、要求する水準に満たないものとして候補者の選定に至らないものとする。

## 別表 審査項目

審査項目		評価の視点	配点比率	配点
実施体制	業務管理体制	業務フローに対する、担当分担が適切で、業務を遂行するために最適な人材・人員が配置されているか。	10%	40
	実施手順	業務実施手順が適切に段取られ、適切なスケジュールで実施するよう計画されているか。	10%	40
	実績等	提出された過去の実績等(契約内容、制作物等)から判断して、本業務を遂行する上で有益となる過去の類似業務等の実績を有しているか	10%	40
	<b>実施体制 小計</b>		<b>30%</b>	<b>120</b>
提案内容	地域情報誌への上下水道局だより掲載	目的の理解と提案への反映度	10%	40
		提案の実現性	5%	20
		独創性、追加提案等の有無	5%	20
		<b>小計</b>	<b>20%</b>	<b>80</b>
	テレビCM・特集の制作及び放送手配	目的の理解と提案への反映度	10%	40
		提案の実現性	5%	20
		独創性、追加提案等の有無	5%	20
		<b>小計</b>	<b>20%</b>	<b>80</b>
	熊本市中心市街地配水管更新事業についての広報	目的の理解と提案への反映度	10%	40
		提案の実現性	10%	40
		独創性、追加提案等の有無	10%	40
		<b>小計</b>	<b>30%</b>	<b>120</b>
<b>提案内容 小計</b>		<b>70%</b>	<b>280</b>	
<b>合計(実績体制+提案内容)</b>			<b>100%</b>	<b>400</b>

<b>見積書</b>	見積額が提案内容と照らして著しく妥当性を欠くものでないか。 (著しく妥当性を欠くと判断される場合には失格とする。)
------------	--

### ○評価の視点

- ・目的の理解と提案への反映度  
本業務の目的と達成すべき成果を十分に理解し、提案内容に反映しているか。
- ・提案の実現性  
提案の内容・規模は十分に実現が見込まれるものであるか。
- ・独創性、追加提案等の有無  
創意工夫やオリジナリティが感じられる内容となっているか。また、基本仕様書に記載の要件以外にも効果的な広報手法提案されている場合は加点対象とする。

### ○評価による点数

A	きわめて優れている	4
B	優れている	3
C	普通	2
D	やや劣る	1
E	劣る	0